

## 飛 米の国際大会受賞者が市長報告 驛産米の水準の高さを証明

12月1日（金） 市長室

11月に山形県で行われた「第19回 米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」で最も権威のある国際総合部門において、飛驒地域（飛驒市・高山市・下呂市・白川村）から出品されたお米が金賞5品、特別優秀賞5品となりました。これを受け、市内でお米を栽培する受賞者が市長室を訪れ、受賞の報告などを行いました。

都竹市長は「お米の生産技術や食味向上とともに、販路の拡大や飛驒産米の更なるブランド化、販売価格にも力を入れて取り組んでいきたい」と話していました。

来年度開催の第20回大会は飛驒地域共同開催となり、高山市で開催されます。



入賞された皆さんと都竹市長

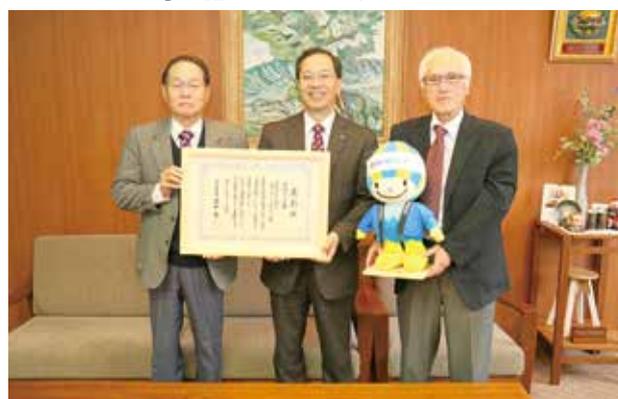
## 清 ガッタンゴーが県を代表するアクティビティへ 流ミナモ賞を受賞しました

12月1日（金） 市長室

岐阜県では、地域づくりなど地域の誇りや愛着を高めるものとへと発展し、県内各地で誇りと自信を持って「わがまちの『清流の国』」が語られることとなるよう、平成25年度から、その模範となる団体を表彰しています。

今年度は、レール マウンテン バイク ガッタンゴーを運営するNPO法人神岡・町づくりネットワークの活動が表彰され、同法人の鈴木理事長らが市長室を訪れ、市長報告を行いました。

鈴木理事長は「各地からのお客さんや廃線を抱える自治体などの視察も増えている。今後は県内のPRなどにも力を入れていきたい」と話していました。



賞状を手にする鈴木理事長（左）ら

## 発 藤江診療所長が症例などを紹介 達支援について学びました

12月9日（土） 古川町公民館（総合会館）

発達支援講演会が古川町公民館（総合会館）2階の大会議室で行われ、市民ら約300人が参加しました。

講演会では、飛驒市こどものこころクリニックの藤江昌智診療所長が「飛驒地域におけるこどものこころクリニックの役割について」と題し、開所にあたっての思いや自身の経験や実際の事例などを交えながら、子どもの発達障害や症例、治療方法などを紹介しました。

参加した都竹市長は「行政や地域が一体となって、子どもの発達を支援していきたい。全国に誇れるような、安心して子どもを育てられるまち・飛驒市を目指したい」と話していました。



藤江診療所長による講演の様子

## 飛 糸引きの文化や歴史を伝える 驛の女工について学びました

12月1日（金） 古川西小学校

古川西小学校で飛驒の女工についての講話が行われ、同小の6年生児童約50人が参加しました。児童らは飛驒から野麦峠を越えて働きに行った女工について、当時の様子や歴史、文化を学びました。

この授業では、古川町で飛驒の語り部として活動する鮎飛定男さんが講師を務め、スライドや当時の資料、わらじなどの道具を使い説明を行いました。

また、当時の衣装を着用する体験も行われました。代表の児童が当時の着物やわらじなどに身を包み、当時の様子を再現しました。



説明を行う鮎飛さん（左）と当時の衣装を着る児童



## 楽 各グループの成果をプレゼンしあう 天IT学校甲子園の出場チームが決定

12月12日（火） 飛騨神岡高校

飛騨神岡高校で楽天 IT 学校が開かれ、総合学科ビジネス会計系列選択の生徒 15 人が授業を受けています。

生徒は3グループに分かれてハツ三館の宿泊プランを企画・立案し、実際に宿泊プランを販売してきました。

この日は、これまでの学習のまとめとして、販売した宿泊プランを各グループが「プランで工夫したこと」などの発表を行いました。

発表後には、講師と生徒による審査が行われました。それぞれのプランの売上ランキングや審査結果が発表され、総合1位にはチーム「ちーずかまぼこ」が選ばれ、来年1月に行われる「楽天 IT 学校甲子園」に出場します。



生徒によるプレゼンの様子

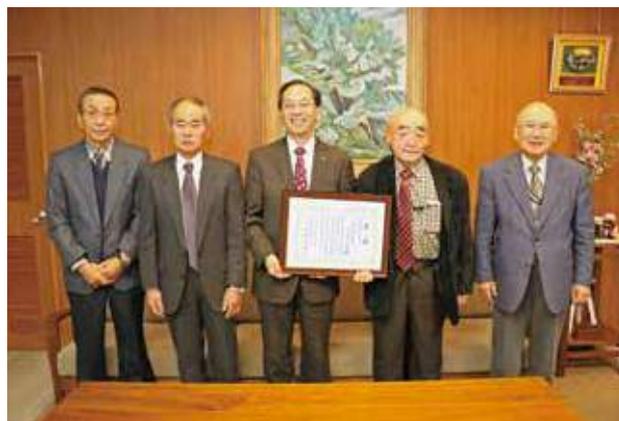
## 全 農村の環境保全活動などが評価される 全国農村振興技術連名賞を受賞

12月11日（月） 市長室

「古川町気多の水と土を守る会」が平成29年度東海農政局多面的機能支払交付金表彰において、全国農村振興技術連名賞を受賞しました。それを受け、同会の蒲生源左衛門会長らが市長室を訪れ、受賞の報告を行いました。

この賞は、多面的機能支払交付金活動の中で特に農村の環境保全に対する取り組みの評価が高い団体や個人へ送られるものです。

同会では、古川町気多地区内の水路や農道の機能保全活動や魚道整備等の水質保全・生態系保全活動、鳥獣害対策など幅広い活動を行っています。



報告を行った蒲生会長（右から2人目）ら

## 新 第47回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2018 春のふるかわを駆け抜ける

1月3日（水） ハートピア古川

第47回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2018が開かれ、市民や帰省者ら998人のランナーが参加し、ハートピア古川を起点に思い思いの走りを堪能しました。

この日は、道路に積雪もなく、また寒くもなくマラソンを行うには良い天気となりました。

開会式では、毎年恒例の仮装したランナーのパフォーマンス賞の発表や最初に受付を行った近藤さんファミリーによる選手宣誓が行われました。

マラソンでは、小さな家族連れやスポーツ少年団など、参加者は1.7%、2.4%、4.2%のコースをそれぞれのペースで元気いっぱい走り抜きました。



元気いっぱいにスタートして駆け抜けていく参加者

## 飛 開校以来続く花餅づくり 騨吉城特別支援学校で餅つき交流会

12月12日（火） 飛騨吉城特別支援学校

飛騨吉城特別支援学校の生徒・児童29人が殿町青龍台と青龍台青年部18人と餅つきや鏡餅づくり、花もちづくりで交流をしました。

この日は、準備されたうすにもち米を入れると、みんなで「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声とともに生徒児童と一緒に餅つきを行いました。餅つきが終わると、一人ひとり鏡餅用のもちを手でコロコロしながらひとり2個ずつ作りました。

最後に紅白の細長いもちを、花もち飾り用の枝に丁寧に巻き付けて完成。参加した生徒・児童らは交流会を楽しみました。



餅つきの様子